



沖縄県立
名護青少年の家
Okinawa Prefectural Nago Youth Center



ご利用の手引き



指定管理者  一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Chutashimaj Foundation

もくじ

- P03 名護青少年の家のあらまし
- P04 施設の概要「ハイキングコース」
- P05 施設の概要「各施設の紹介」
- P06 利用のルール・利用例
- P08 自然体験活動プログラム一覧
- P09 事業体験活動シート
- P10 施設の使い方
- P12 ご利用にかかる経費
- P14 ご利用申請書類の記入方法
- P16 Q & A
- P17 もしもの場合



名護青少年の家のあらし

設置目的

やんばらの豊かな自然の中での「自然体験活動」や「団体宿泊訓練」「研修」「スポーツ・レクリエーション」等を通じて、規律、責任、協同、協調、友愛、奉仕の精神を養い、心身ともに健全な青少年の育成を図り且つ青少年教育指導者や青少年教育関係者に対する研修を行うことで社会教育の振興に資することを目的として、昭和41年に設立された県立第一号の社会教育施設です。



やんばらの豊かな自然の中に佇む名護青少年の家



名護岳山頂からの眺め

立地環境

当施設は、那覇市から60km北上した名護市にあり、市街地から東方に1.6kmの名護岳中腹、標高135mに位置します。「ナングスク」の名残から名護岳一帯が信仰の対象とされているため良好な森林植生が残り、且つ県立名護中央公園として整備されていることもあり、緑豊かな山々に囲まれています。

施設周辺では、一年中四季折々の草花が咲き、イタジイやイジユ等の樹木が繁茂するため、貴重な昆虫や鳥類を観察することができます。例えば、特別天然記念物のノグチゲラをはじめ県指定天然記念物のコノハチョウやフタオチョウ、イボイモリ等の貴重な生き物が生息しています。他にもリュウキュウハグロトンボやトタテグモ、クロイフボタル、スジボタル、哺乳類ではリュウキュウイノシシ、またガジュマルやアコウの実が熟する頃はオリオオコウモリが観察できます。加えて、カンヒザクラの名所としても知られており、桜の花が名護岳を染める一月の末には、全国に先駆けて「名護さくら祭り」が開催されています。

リュウキュウハグロトンボ



「動植物観察ガイド」

名護岳登山道

ハイキングコース

| | |
|---------|--|
| Aコース | |
| Bコース | |
| Cコース | |
| 登山コース | |
| 沢コース | |
| 南展望台コース | |

※コース上の1～14のポイントには「名護青少年の家」の目標があります

100m 東
50m 北 南
0m 西



宿泊室

※本館の2階・3階が宿泊室のある階です。



2人部屋(各階4室)



4人部屋(各階8室)



10人部屋(各階6室)



20人部屋(各階1室)

キャンプ場

テント(5人用)20張/野外炊飯用具一式(120人)/野外炊飯棟(2棟)/トイレ(男女別)



テントサイト



ガーデンテーブル



旧野外炊飯棟



新野外炊飯棟

研修室



2階研修室(48人)



3階研修室(93人)

浴室



大浴槽



シャワー(各階25台)

講堂



228人収容(イスのみ)
※プロジェクター、マイク、
スクリーンあり。※テーブ
ル利用の場合160名収容。

食堂・喫茶室



食堂(150人)



喫茶室(20人)
※自動販売機あり
(6:00~22:00)

バリアフリー・エレベーター

身体障がい者用
(1基11人乗り)



体育館

バスケットコート(2面)
バレーコート(2面)
卓球台(4台)
バドミントン(3面)
ソフトテニス(1面)



運動広場

グラウンドゴルフ用具:
ゴルフ旗8本、
スティック36本、
ボール30個

利用のルール・利用例

利用のルール

施設の設置目的に沿って、当施設を利用して宿泊研修を行うすべての団体が利用できます。対象は学校教育に限らず、企業研修や大学のサークル活動、各種カルチャースクールほか家族単位での自然体験活動等、所定の手続きを経て所長が許可すれば利用可能です。

沖縄県教育庁生涯学習振興課では、学校等を優先団体として次年度の予約受付を行っていますが、年度途中であれば団体による優先順位はありません。

原則、平等利用となりますが「早い者勝ちではありません」。同じ利用日で利用希望施設（研修室や体育館、野外炊飯棟等）が重なった場合は、担当職員が打合せを通じて利用調整を行います。

当所は沖縄県の公共施設のため沖縄県民の利用が優先されますが、もちろん県外の方も利用可能です。

当所は宿泊研修施設のため、宿泊利用者が日帰り利用者より優先されます。

当所は社会教育施設のため、一般の宿泊施設とは異なりご利用の際は事前の申請や許可が必要です。詳しくは下記の「申込方法」をご覧ください。



申込方法

スタッフが丁寧にサポートします！



団体のご利用



学校教育課程

団体宿泊訓練、自然体験活動、
新入生オリエンテーション、
リーダー研修会、中体連等



部活動等の合宿

部活動の強化合宿 (スポーツ、
管弦楽等)、勉強合宿等



企業等の研修

社員交流研修、各種セミナー、
教職員初任者研修等



任意団体

学童クラブ、各種サークル活
動、カルチャースクール合宿、
定期活動 (日本宇宙少年団名
護分団) 等

家族のご利用

家族で野営に挑戦。みんなで協力してテント設営や野外炊飯を行い、
周辺の自然散策、クラフト体験等を行うことができます。



アクティビティ王
決定戦



美ら島自然の学び舎
ウミガメ編

親子ふれあい
キャンプ
「スプリングキャンプ」

ホテル観察会

自主事業

指定管理者「沖縄美ら島財団」ならではの質の高いプログラムを提供。受益者負担のため主催事業に比べると割高になりますが、その分だけ充実した内容の自然・文化体験が可能です。

カヌーキャンプ

キッズ
アドベンチャー

星空観察会



ピザ作り体験



ナゴランを
育てよう



ノルディック
ウォーキング教室

慰霊の日
奉仕活動

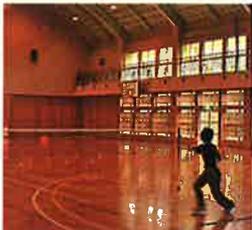
主催事業

沖縄県の主催事業へ
低廉な価格で参加できます。

親の学びあい
プログラム

なんぐすく
桜見ウォーク

ボランティア育成
スキルアップ研修



体育館利用

9:00～22:00まで、体育館が誰でも利用可能です。予約は利用予定日の2週間前から受け付けています。複数団体の利用希望がある場合は、宿泊団体が優先となります。



講堂・研修室

日帰りのセミナーやシンポジウム、企業研修等、多用途で利用可能。予約は随時受け付けています。(宿泊利用団体優先のため要相談)



野外炊飯棟

カレーやダチオーブン料理等の野外炊飯やBBQ大会等、日帰りで利用できます。利用には薪代が必要です。



登山・ハイキング

名護岳頂上を目指す登山道や初心者でも気軽に歩けるハイキングコース等、無料で利用できます。



軽スポーツ

グラウンドゴルフやターゲットパードゴルフ、ペタンク等の軽スポーツが無料で楽しめます。

自然体験活動 プログラム一覧

※詳しくは別冊プログラムガイドをご覧ください。



A 野外体験

- 1 名護岳登山
- 2 ハイキング(A,B,Cコース)
- 3 ナイトハイキング
- 4 ナイトウォークラリー
- 5 テント設営
- 6 テント底上げ・撤収
- 7 天体観測
- 8 夜の生き物観察
- 9 まきわり体験
- 10 火起こし体験
- 11 野外炊飯(カレー)
- 12 野外炊飯(ローストチキン)
- 13 野外炊飯(ベーコンと野菜の重ね煮)
- 14 野外炊飯(カートンドッグ)



B 工作体験

- 1 植物のクラフトづくり「どんぐりトトロ」
- 2 植物のクラフトづくり「名札づくり」
- 3 植物のクラフトづくり「フォトフレーム」
- 4 牛乳パッククラフト「紙パックランタン」
- 5 パードコール
- 6 PPとんぼ



C 環境学習

- 1 ネイチャーゲーム
- 2 講話「生き物のおはなし」
- 3 講話「尾びれをもらったイルカ「フジ」のおはなし」
- 4 講話「サンゴのおはなし」
- 5 講話「"エコ"ってなあに」
- 6 講話「植物のおはなし」
- 7 講話「ウミガメのおはなし」
- 8 講話「川の生き物のおはなし」

D レク・スポーツ

- 1 グランドゴルフ
- 2 ターゲットバードゴルフ
- 3 ラダーゲッター
- 4 ディスクゲッター
- 5 ストライクアウト
- 6 ペタンク
- 7 バasketボール
- 8 バレーボール
- 9 バドミントン
- 10 卓球
- 11 ソフトバレー
- 12 ドッジボール
- 13 5本綱引き



事前体験活動企画シート

※研修のねらいを明確にするため、この企画シートをご活用下さい。

自然体験活動により 育てたい資質や能力

名護青少年の家の自然体験活動プログラム
を利用し、

の資質や能力を育みたい。

その資質や能力に ついての今後の姿は

活動後の子どもたちが、

といった姿になることを目標とします。

目的

現状

目標

教材

その資質や能力に ついての子ども現状

上記の目的を設定した理由は、
現在子どもたちは

という状況にあるためです。

どのような活動で育むか

その資質や能力を育むため、

のプログラムを選択し、

のよう運営します。



宿泊室(20人部屋)

施設の使い方

①入館時

団体毎に下駄箱が指定されますので、担当職員の指示に従って下さい。
館内は、備え付けのスリッパか持参の上履きをご利用ください。
団体毎に利用する部屋へ名札がかけられていますので、宿泊室へ荷物を運んで下さい。
部屋割り表は【資料1】をご参照ください。

②食堂

団体毎に食堂への入室を館内放送にてご案内します。(放送があつてから入って下さい。)
必ず手を洗ってから入室してください。
食堂内には手洗い場がないので、トイレか洗面所で手洗いを済ませてください。
セルフサービスです。自分で食べられる量を考え、残さないように心がけましょう。



③館内での過ごし方

各部屋、研修室、体育館内での飲食は禁止です。
(食堂、喫茶室、1Fテラス、1F談話コーナーは飲食可。)
全館禁煙です。(館外に喫煙コーナーあり。)
ロビーは公共の場です。騒がないで、静かに過ごしましょう。
各自で持ち込んだゴミは、責任を持って持ち帰って下さい。(館内にゴミ箱はありません。)
節水・節電にご協力ください。
(特にトイレや洗面所、研修室、宿泊室等の電気の消し忘れに注意してください。)
トイレのスリッパは、使用後は綺麗に並べましょう。(次の利用者が気持ちよく使えるように。)
避難口、避難経路の確認を忘れずに。(各階に掲示しています。)
宿泊室の空調(クーラー・暖房)は事務所で管理します。(21:00～6:30)

④入浴について

浴室(男子2F、女子3F)
団体毎に決められた利用時間内で使用して下さい。
洗面器、腰掛は使用後にもとの場所に戻して下さい。
浴室では走らない、騒がないように。
忘れ物がないことを確認して出て下さい。
原則、入浴は22:00までに済ませて下さい。



⑤就寝時

消灯は22:30です。

シーツはリネン室(1F)に団体毎に用意しています。1人あたり「シーツ2枚、枕カバー1枚」を必ず使用して下さい。使用方法是各部屋に掲示してあります。翌朝は畳んで、1Fエレベーター前の緑のカゴに入れて下さい。

正門は23:00に施錠します。

⑥起床時

起床は06:30です。館内放送があります。

起床後は、部屋の換気や洗顔、寝具類の整理整頓をしましょう。毛布類は、綺麗に畳んで下さい。畳み方・収納の仕方は部屋に掲示してあります。担当職員が、退所時にチェックします。

⑦朝の集い

朝の集いを07:00に運動広場で行います(雨天時は、体育館)。予め利用者から選ばれた司会役の進行で、ラジオ体操や団体紹介、担当職員からの諸連絡を行います。朝の集いの司会は、【資料4】を参照下さい。

⑧清掃

当所では、「来た時よりも美しく」との生活の柱を掲げています。退所前には、自分たちの使用した宿泊室や研修室、トイレ、浴室等、予め打合せで決めた清掃箇所を掃除し、次の利用者を気持ちよく迎え入れる準備をしましょう。詳しくは、清掃分担表【資料2】及び清掃点検表【資料3】を参照下さい。

⑨その他

施設利用の基本的な心構えについては、研修の心得【資料5】を参照下さい。





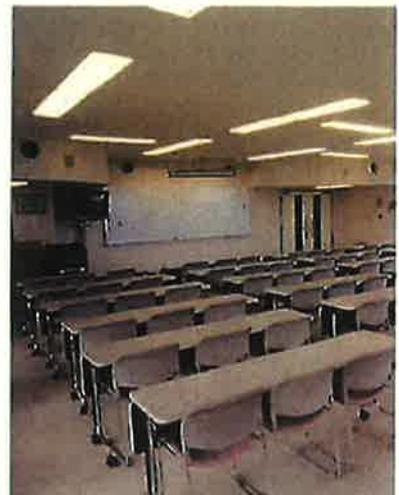
宿泊室

児童・生徒 = 320円/人
学生・一般 = 630円/人
備考: 1人1泊につき



テント泊

児童・生徒 = 150円/人
学生・一般 = 260円/人
備考: 1人1泊につき



研修室(2F・3F)

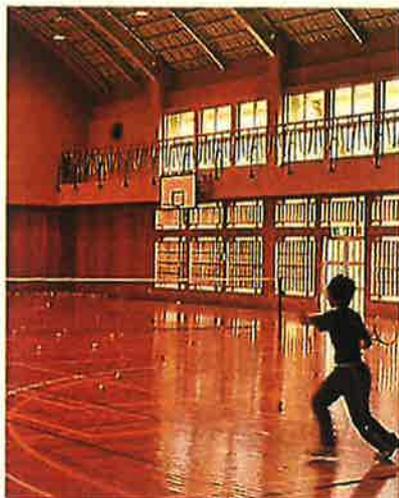
児童・生徒 = 150円/時間
学生・一般 = 370円/時間
備考: 1団体1時間につき

施設利用料 (事務所にて支払分)

※1 利用料金は前納となっております。入所時、事務所にてお支払い下さい。
※2 個別での領収証発行を希望する団体は、事前にFAXにて宛名等を送信して下さい。

講堂・体育館

児童・生徒 = 370円/時間
学生・一般 = 730円/時間
備考: 1団体1時間につき



クラフト

内容によって異なります
備考: 1人あたり

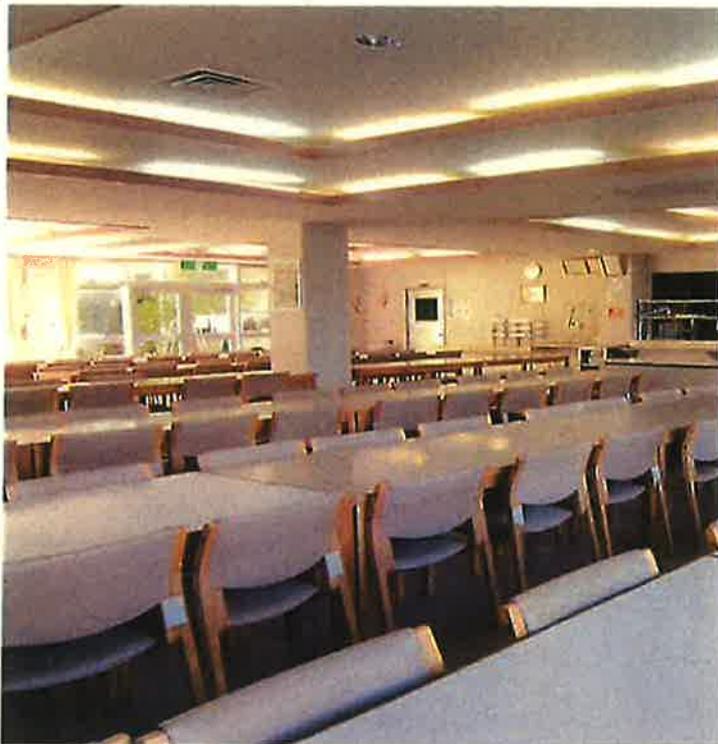


薪代

50円/人
備考: 1人あたり

シーツ代

220円/人
備考: 1人あたり



食堂利用 (食堂にてお支払い)

※業者に委託しております。
直接食堂へお支払い下さい。
※子どもも大人も同じ料金です。

朝食代 = 400円/人
昼食代 = 600円/人
夕食代 = 700円/人

野外炊飯(食堂にてお支払い)

※衛生管理の観点から、生食材の持ち込みはご遠慮下さい。
※野外炊飯の詳細メニューは別冊「プログラムガイド」をご覧ください。



利用申請書類の記入例

ご利用の1カ月前までに、「利用許可申請書」と「研修プログラム計画書」「食事及び宿泊者数申込書」「宿泊利用者名簿」をご提出下さい（FAXやヒメール、郵送可）。必要に応じて「利用料金免除申請書」も添えて下さい。なお、変更があれば速やかに事務所に連絡し、書類を再提出して下さい。ご利用予定日の3日前を過ぎてからの変更については、キャンセル料が発生します（全額）。ご利用日当日は、書類の原本（代表者印を押印）をお持ち下さい。なお、前日までに「宿泊利用者名簿」を提出いただければ、入所時に受付にて手書きしていただきますのでご留意下さい（安全管理上必須）。



「利用料金免除申請書」の書き方

第4号様式

申請する日を記載

沖縄県立青少年の家利用料金免除申請書

平成 年 月 日

沖縄県立青少年の家

指定管理者 財団法人 沖縄美ら島財団 限

申請者

学校印、
又は施設印

住 所 (団体所在地)

団 体 名 (学校名、又は施設名)

代表者氏名 (役職名、又は施設代表者名) 印

電話番号 団体の連絡先

沖縄県立青少年の家の設置及び管理に関する条例施行規則第4条第1項の規定に基づき、次のとおり沖縄県立青少年の家の利用料金の免除を申請します。

「利用許可申請書」の書き方

(記入例)

第2号様式

沖縄県立青少年の家利用許可申請書

申請日

記入・コピ

平成 年 月 日

沖縄県立青少年の家

指定管理者 財団法人 沖縄美ら島財団 限

利用団体名

*学校関係校長名
*社会教育関係、その他は
会長などの代表者名

団体所在地

*校長印
*施設印
*代表者印

電話番号

FAX番号

電話番号

FAX番号

引率責任者氏名

引率責任者代表者名

次のとおり施設を利用したいので、許可されるよう申請します。

| | | | | | | | | | | |
|-----------|---------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 利用団体所属 | 〇学校関係 幼稚園 小学校 中学校 高校 特別支援学校 大学 その他() | | | | | | | | | |
| 研修の名称 | 〇研修名 () ※該当する項目に〇印 | | | | | | | | | |
| 研修の目的 | 〇目的 () | | | | | | | | | |
| 研修の日程 | 〇日程 () ※該当する項目に〇印(複数可) | | | | | | | | | |
| 利用施設 | 〇施設 () ※利用するすべてに〇印(複数可) | | | | | | | | | |
| 研修生等の利用時間 | 〇時間 () | | | | | | | | | |
| 利用料金の内訳 | 〇料金 () | | | | | | | | | |
| 利用料金の合計 | 〇合計 () | | | | | | | | | |

- 1 〇印は、該当するものにしるしを記入すること。
- 2 選択がある欄については、該当するものを〇印すること。
- 3 フレイトールは、体育館、大研修室及び大講堂を含む。
- 4 研修生等の利用時間数欄には、利用団体内に当該施設を利用する合計時間数を記入すること。

| 研修会の名称 | 研修名 【例】1年生宿泊研修会、リーダー研修会、など | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|----|----|----------|----|---|--|--|--|--|-------|-------|----|----|----|----|-----|---------|---|---|---------|---|---|-----|---------|---|---|---------|---|---|-------|----------|----|---|----------|----|---|-------|----------|----|---|----------|----|---|
| 研修の目的 | どのような目的で利用するか (※研修を通して学ぶこと) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 利用期間 | 平成 年 月 日() 時 ~ 平成 年 月 日() 時(泊日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 納入すべき利用料金 | 名義青少年の家の管理に関する規則第15条の2項第1号により免除 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 免除申請理由 | ※ 第1号 教育課程に基づく教育活動として利用する場合 ※ 第2号 教育手帳又は精神障害者福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの介護人が利用する場合 ※ 第3号 沖縄県及び沖縄県教育委員会主催する研修に利用する場合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 免除申請額 | <table border="1"> <tr> <th>施設・料名</th> <th>単価・単位</th> <th>人数</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td>宿 舎</td> <td>300円/1人</td> <td>人</td> <td>円</td> <td>400円/1人</td> <td>人</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>内 宿</td> <td>150円/1人</td> <td>人</td> <td>円</td> <td>250円/1人</td> <td>人</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>研 修 室</td> <td>150円/1時間</td> <td>時間</td> <td>円</td> <td>350円/1時間</td> <td>時間</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>体 育 館</td> <td>350円/1時間</td> <td>時間</td> <td>円</td> <td>700円/1時間</td> <td>時間</td> <td>円</td> </tr> </table> | | | | | | | | | | 施設・料名 | 単価・単位 | 人数 | 金額 | 人数 | 金額 | 宿 舎 | 300円/1人 | 人 | 円 | 400円/1人 | 人 | 円 | 内 宿 | 150円/1人 | 人 | 円 | 250円/1人 | 人 | 円 | 研 修 室 | 150円/1時間 | 時間 | 円 | 350円/1時間 | 時間 | 円 | 体 育 館 | 350円/1時間 | 時間 | 円 | 700円/1時間 | 時間 | 円 |
| 施設・料名 | 単価・単位 | 人数 | 金額 | 人数 | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 宿 舎 | 300円/1人 | 人 | 円 | 400円/1人 | 人 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内 宿 | 150円/1人 | 人 | 円 | 250円/1人 | 人 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研 修 室 | 150円/1時間 | 時間 | 円 | 350円/1時間 | 時間 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 体 育 館 | 350円/1時間 | 時間 | 円 | 700円/1時間 | 時間 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 免除申請額 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

学校団体の引率者は年度の1割(四捨五入)までは免除。

研修の主体が生徒の場合、この欄は、記入しないで下さい。

「研修プログラム計画書」の書き方

■研修プログラム（記入例）

団体名 () 参加人数 () 人
 担当者 () 電話 () 携帯 ()
 ・入所 (平成 年 月 日 () 時 分)
 ・退所 (平成 年 月 日 () 時 分)

| 時間 | 研修内容 | ○月×日(△) | ○月×日(○) | 月 () () | 月 () () |
|-------------------------|-------------------------------------|--|--|-------------|-------------|
| 6:30 7:00 | 起床 朝の集い (添物活用) | | 6:30~起床・洗面 | | |
| 7:30 9:00 | 朝食 研修 (場所) ()時間 | 朝食 11:00~入所式 ※物品を置く ・シニアを敬う(礼儀) ・社会常識(礼儀) | 朝食 9:00~研修① 奉還所(山) ①(4時)・研修②にて クワツト(山) | | 乳食 |
| 12:00 13:00 | 昼食 研修 (場所) ()時間 | 昼食 14:00~研修② 野外活動 ・差別体験 ・火起こし体験 ・野外炊飯 の..... (キャンプ場) ()時間 | 13:00~研修② 清掃 ※研修②で準備した 野外炊飯の材料を 野外炊飯の準備 ※研修②の準備が済 まないとまずい。 | | |
| 17:00 18:00 19:00 | 夕食 研修 入所 (場所) ()時間 | 19:00~研修③ 20:30~入浴 21:30~ 翌日の研修確認 ※A202..... | 11:00~入所式 ()時間 ()時間 ()時間 ()時間 | | |
| 22:30 23:00 | 消灯 施設・閉門 | 消灯 施設・閉門 | 消灯 施設・閉門 | 消灯 施設・閉門 | 消灯 施設・閉門 |

備考
 ・食事時間は、利用団体が多数の場合は若干早まる場合があります。
 ・入浴は、19:00~22:00までに済ませてください。
 ・4人以上の団体は、コピーして2枚提出ください。または各利用体で作成し1枚にまとめて提出しても構いません。

「食事及び宿泊者数申込書」の書き方

食事及び宿泊者数申込書 (新規・変更)

指定管理施設(財)がくま川森財団 携帯 090-1949-2698(10:00~18:00)
 沖縄県立看護少年の家 内 TEL 0980-52-2076
 新聖食堂 宛 FAX 0980-52-3092

| 団体名 | 担当書記名 | 申込日 | 平成 年 月 日 | 午前 | 午後 | 例 |
|-----|---------------|-----|----------|---------------|---------------|----|
| | 電話番号 () | | | | | |
| | FAX番号 () | | | | | |
| 利用日 | 食事場所 | 食事数 | 宿泊者数 | 利用人数 (研修生) | 特別参加 人数・研修 | 備考 |
| 月 日 | 朝食 食堂・野外炊飯・なし | | | | | |
| | 昼食 食堂・野外炊飯・なし | | | | | |
| | 夕食 食堂・野外炊飯・なし | | | | | |
| 月 日 | 朝食 食堂・野外炊飯・なし | | | | | |
| | 昼食 食堂・野外炊飯・なし | | | | | |
| | 夕食 食堂・野外炊飯・なし | | | | | |
| 月 日 | 朝食 食堂・野外炊飯・なし | | | | | |
| | 昼食 食堂・野外炊飯・なし | | | | | |
| | 夕食 食堂・野外炊飯・なし | | | | | |
| 月 日 | 朝食 食堂・野外炊飯・なし | | | | | |
| | 昼食 食堂・野外炊飯・なし | | | | | |
| | 夕食 食堂・野外炊飯・なし | | | | | |

※FAX送信後に受領確認をしてください

「宿泊利用者名簿」

名簿青少年の家 宿泊 利用者名簿

| | |
|-------|-----------------------------|
| 利用日 | 平成 年 月 日 () ~ 平成 年 月 日 () |
| 団体名 | |
| 引率責任者 | |
| 携帯番号 | |

※責任者・引率者にはNoに○をつけてください。

| No. | 氏名 | 性別 | 学年/年齢 | 部屋番号 |
|-----|----|----|-------|------|
| 1 | | | | |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |
| 5 | | | | |
| 6 | | | | |
| 7 | | | | |
| 8 | | | | |
| 9 | | | | |
| 10 | | | | |
| 11 | | | | |
| 12 | | | | |
| 13 | | | | |
| 14 | | | | |

施設について

Q. 青少年の家を利用できる団体はどんな団体ですか。

A. 2名以上の団体であれば、どなたでも利用できる研修施設です。学校教育に限らず、企業研修や大学のサークル活動、各種カルチャースクールほか家族単位での利用もできます。

Q. 休所日はありますか。

A. 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）と年末年始（12月29日～1月3日）がお休みです。

Q. タバコを吸う場所はありますか。

A. 当所は沖縄県の「施設内完全禁煙認定施設」ですので全館禁煙となっています。屋外に1カ所だけ喫煙所を設けていますのでそちらをご利用下さい。

Q. 車イスの利用はできますか。

A. 完全な車イス対応ではありませんがご利用になれます。本館施設内にはエレベーターを完備していますので移動の際はご利用下さい。また各階に1カ所ずつ車イスの方が使用できるトイレがございます。ご入浴は、「大浴場」または「バス・トイレ付のお部屋」をご利用していただけますが、どちらとも段差がございますので介助される方が必要となります。

Q. 洗濯機はありますか。

A. コイン式の洗濯機と乾燥機があります（有料）。

Q. お風呂場にはせっけんやシャンプーなどはありますか。

A. 用意しておりません。各自でご持参下さい。管理事務所にて使い切りのシャンプー等の販売も行っております。

Q. 正門は何時に閉まりますか。

A. 午後11時に施設します。なお、緊急時は開門しますので、警備員又は宿直担当の職員までご相談下さい。

Q. 自動販売機はありますか。

A. 本館1階に自動販売機があります。ご利用時間には制限があります（6:00～22:00）。

Q. 観光バスで行けますか。

A. 当所は名護中央公園の入り組んだ場所に位置する為、途中道幅が狭く大型バスが通行できないところがあります（マイクロバス可）。大型バスでお越しの際は名護中央公園（北口）から天上展望台の駐車場をご利用下さい。駐車場からは徒歩約10分です。途中ハイキングコースの中を通りますが、雨の降った後は道がぬかるんだり滑りやすくなりますのでご注意ください。
※本冊子の裏表紙にアクセスマップがございます。

活動について

Q. 事前の打合せは必ず行わないといけないのですか。

A. はい。当所は研修を目的とした「社会教育施設」です。ご利用になる団体の研修内容をより充実したものにするためにも、現場での対面による打合せは不可欠と考えています。打合せ時には、実際に利用する施設や名護岳のフィールドのド景、避難経路の確認等、電話やメールではできない安全管理上の確認も行います。

Q. 研修室・宿泊室での飲食はできますか。

A. できません。共同で利用する場所ですので飲みこぼしや食べこぼしがアリ等の発生や汚れの原因となります。本館1F食堂や、テラス、喫茶室では飲食可能です。

Q. どんな研修ができますか。

A. 登山、ハイキング、ナイトハイキング、ナイトウォークラリー、野外炊飯、星空観察、グラウンドゴルフ、体育館でのスポーツ、クラフト作り、研修室・講堂を利用した研修会等ができます。

Q. 利用するにはどうすればいいですか。

A. まずは電話にて予約状況を確認して下さい。利用が決まりましたら、利用日の1ヶ月前までに、所定の様式をホームページから入手し提出して下さい。その後、利用日の2週間前を目途に来所していただき現地に事前打合せを行い、当日の利用となります。

Q. 日帰りの利用はできますか。

A. できます。ハイキングや登山、グラウンドゴルフ、野外炊飯、研修室を使った講話や研修会、体育館でのレクや部活動の利用もできます。基本的には宿泊研修団体の利用が優先となりますので、電話にて空き状況をご確認の上、お申込み下さい。

Q. 当日、急に行っても宿泊できますか。

A. できません。当所はホテル等の宿泊施設と違い「社会教育施設」の為、利用申請書類の提出や担当職員との事前の打合せが必要となります。

よくある
ご質問

食事について

Q. 食材の持込みはできますか。

A. できません。衛生管理上の理由により、食材の持込みはご遠慮いただいております。

費用について

Q. 支払はどのように行いますか。

A. 施設利用料は管理事務所にて、食事代・シーツ代は食堂でお支払い下さい。

Q. 領収証を分けて発行できますか。

A. できます。事前に領収証の分け方や宛名をメール又はFAXにてお知らせください。

Q. 領収証を失くしてしまった場合、再発行はできますか。

A. できます。再発行の場合は直接受け取りに来られるか、返信用封筒を同封し当所宛にお送り下さい。

Q. キャンセル料はかかりますか。

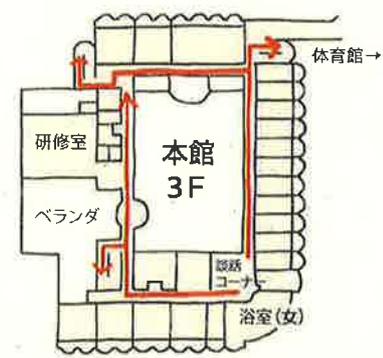
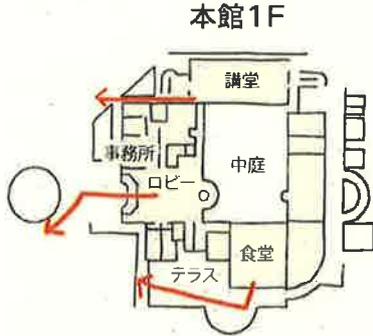
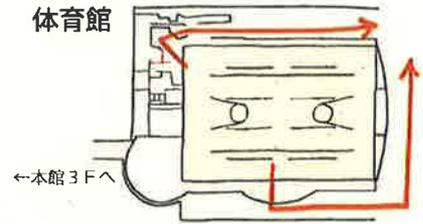
A. 宿泊数・食事数の変更は利用日の3日前までにお願います。それ以降に変更が生じた場合はキャンセル料が発生します。変更や中止が決まった際は、すみやかにご連絡下さい。



もしもの場合

避難経路図

各フロアにも避難経路図が掲示されています。
各自の部屋からの避難経路を必ず確認して下さい。



スズメバチに刺されたら



1. すぐに毒を絞り出す(口で吸い出さず、指でつねって絞り出す)。



2. 良く水で洗って冷やす(毒の回りを遅くする)。吸引器があれば吸い出す。臭いの付着による次の攻撃を避ける。



3. 抗ヒスタミン軟膏やステロイド剤、タンニン酸水を塗布(アンモニアは効かないのでつけない方が良い。市販薬の抗ヒスタミン剤を予め購入しておくと役に立つ)。

対策
 白い帽子、衣服を着る
 身を低くする
 整髪料、香水を付けない
 ハチに遭遇したら後ろにゆっくり下がりながら逃げる
 ハチの巣に近づかない、揺すらない
 ハチを手で払わない(そつと後退する)
 姿勢を低くして静かに逃げる

ハブに咬まれたら



1. まず、あわてずに、ハブかどうかを確かめます。
 ヘビの種類が分からなくても、ハブなら牙のあとが普通2カ所(1カ所あるいは3、4カ所の時もあり、5分もしないうちに腫れてきてすごく痛みます)。



2. ハブだとわかったら、大声で助けを呼び、病院へ連れて行ってもらいます。
 走ると毒の回りが早くなるので、車で病院に運んでもらうか、ゆっくり歩いていくようにしましょう。



3. 傷口から血と一緒に毒を吸い出します。
 専用の吸引器がありますが、無い時は口で吸い出してください。口の中に傷があると軽い炎症を起こすこともありますが、心配いりません。また毒は飲み込んでも、胃の中で消化分解されるので、害はありません。



4. 病院まで時間がかかる場合は、指一本とおる程度にゆるく縛ります。
 咬まれた部位より心臓に近い部分を、血の流れを減らす程度に縛ります。強く縛ると血が止まり、逆効果になることもあります。必ず15分に1回はゆるめます。

- 【緊急連絡先・緊急搬送先】**
 名護消防本部・・・0980-52-2121
 名護警察署・・・0980-52-0110
 沖縄県立北部病院・・・0980-52-2719
 北部地区医師会病院・・・0980-54-1111

アクセスマップ

沖縄県内から

那覇市から路線バス利用の場合

【20番：名護西線】・【77番：名護東線】・【120番：名護西空港線】を利用し、「名護城（なんぐすく）入口」下車。徒歩約25分（1,600m）。

「高速バス」・「やんばる急行バス」利用の場合

【111番：高速バス】【やんばる急行バス】で沖縄自動車道を利用し約90分。「世富慶（よふけ）」下車。路線バス【20・22・77・78・120番】に乗り換え、「名護城（なんぐすく）入口」下車。（約5分程度）もしくは、「世富慶」からタクシーで直接施設へ。（約15分程度）



名護市内／北ルート

国道58号線を北上し、「城1丁目」を右折。県道71号線を道なりに進み、赤嶺内科を過ぎて1つ目の交差点を右折、「名護城公園（北口）」入口より公園道へ入る。案内表示に従って山道を進む。
※大型バスは北口から天上展望台の駐車場をご利用ください。

名護市内／南ルート

国道58号線を北上し、「東江4丁目（北）」を右折。県道18号線を道なりに進み、「東江2丁目」を左折、橋を渡った直後の交差点を右折する。左手に東江中学校を見ながら進み、「名護城公園（南口）」入口より公園道へ入る。案内表示に従って山道を進む。
※赤色のルートは、道幅が狭く大型バスは通行できません（マイクロバス可）。

お問い合わせ Web: <http://www.opnyc.jp/>

沖縄県立 名護青少年の家

〒905-0012 沖縄県名護市字名護 5511

Tel: 0980-52-2076 / Fax: 0980-52-3082

指定管理者 一般財団法人 沖縄美ら島財団

〒905-0206 沖縄県国頭郡本部町字石川 888

Tel: 0980-48-3645 / Fax: 0980-48-3900

Web: <http://okichura.jp/>